

山形学院報

題字及び「愛」の字は故佐藤利吉先生です

2012年度主題聖句 『あなたがたは地の塩である。あなたがたは世の光である。』
〔新約聖書・マタイによる福音書5章13~14節〕

2012年度行動目標 「生徒とともに生き、学び、成長する」
～生徒一人ひとりを大切に～

学校法人山形学院
山形学院高等学校
山形学院柏葉会同窓会

〒990-0039 山形市香澄町3-10-8
TEL023-641-4116
FAX023-641-4121
山形学院のホームページの紹介
<http://www.y-gakuin.ac.jp/>
E-mail info@y-gakuin.ac.jp



人は輝きます

理事長・校長 北垣俊一

校長室から窓の外に降る雪を眺めつつ、雪博士といわれた中谷宇吉郎の言葉を思い出します。「雪は天からの手紙である。」天から緩やかに降る雪、あるいは激しく降る雪、いろいろな降りかたをする雪。天から降り下りてくる雪の一片、その雪の結晶の基本形は六角形ですが、それこそ、何万の数であっても、みな違った文様であること。それぞれ違う個性を持った形で天から地上に降ってくるのです。人の手では決して造形できない、自然が生み出す自然の美をその一片一片にひそやかに秘め、その存在を示しつつ雪は地上に降ってきます。雪にも個性があり、それぞれの輝きがあるのです。

眼を外の世界から内に向けて、今各教室で学びに取り組んでいる生徒たちの姿を見ます。本校に在籍している生徒一人ひとり、人間としての「格」は同じです。聖書は、人間は創造者である神によって造られ、誰もがかけがえのない存在であり、神の前に人は皆対等であると教えています。山形学院の教育はその教えに立脚しています。神によって造られた人間は、神の眼差しにはどう映るのでしょうか、旧約聖書イザヤ書43章3節に「わたしの目にはあなた(人間)は値高く、貴い、わたしはあなたを愛している。」という言葉があります。創造者なる神は、わたしたち人間をそれこそ、

何十万人であろうが、それぞれ異なるものとして造形されたといえます。新約聖書にも「人間は神の手作りの作品」であると述べられています。英語の聖書では God's handworkと訳されてもいます。陶芸家が土をこねて、その思いを込めて一つの器を造形していくように、創造者なる神も、その意思を込めて、わたしたち人間を一人ひとり形づくられた。それが故にその存在は値高く、貴いのです。そして人にはそれに、その人ならではの良き賜物が与えられ、独自の個性があり、その人ならではの可能性をもって存在しています。

学校は、教師と生徒との教育的な関係性の中で、生徒の人格形成に寄与していく場です。英語の教育をあらわす言葉、Education、その動詞形 educateは「引き出す」という意味を持っています。生徒の人格の中に宿る良き賜物=可能性をどれだけ個々の生徒から引き出し得るか、教師の教育的な力量が問われるところです。生徒に宿る良き賜物は、偏差値的な尺度だけで測れるものではありません。しかし今なお、日本の学校教育では偏差値的な学力で生徒を輪切りにとらえる傾向が依然として強いのです。「お前は、成績がいいから、〇〇高校へ行け、お前の成績では〇〇は無理だから、私立学校へ行きなさい。」との進路指導が行われているようです。本校に

も自己肯定感をなくしている生徒、勉学への意欲を持てないでいる生徒、不本意な気持ちで入学して、なかなか気持ちを切り替えることができない生徒がいます。しかし教師の生徒への関わり方、働き方によって、生徒は大きく変化し、成長していきます。山形学院の教師の共通行動目標は「生徒と共に生き、学び、成長していく～生徒一人ひとりを大切にしていく～」ことです。わたしたちは、偏差値教育の域を越えて真の人間形成をめざし、それぞれの生徒の持っている良き、賜物=可能性を引き出し、将来の社会での自分に与えられた使命、志を自覚させることを大きな課題として取り組んでいます。

学校教育の目的は、個々の生徒に社会で仕事がきちんとでき、社会に役立つための学力をしっかりと身につけることは言うまでもありませんが、それ以上に、人としての考え方、生き方をしっかりと身につけ、社会に役立つ人材になるような自立・自律的な人格形成の追求にあります。わたしたちは、その目的に取り組んできました。

厳しく降りしきる雪になんども身を縮めて過ごしてきた冬から春の季節へ。

春3月、本校教育の中で育まれ、陶冶され、教師と共に成長した若者たちが、3年間過ごした学び舎から未来の進路に向けて飛び立っていくこうとしています。それぞれに自分自身で選んだ道で、更なる自己形成を図り、将来、社会の各分野で自分に与えられた良き賜物を活かして「一隅を照らす存在」になるものと確信しています。



ツリーに祈る「家族の元へ」 石巻・遺骨安置所
この度は「最後のお一人が家族の元に帰るまで」と東日本大震災の身元不明者ご遺体の似顔絵を描き、身元特定にご尽力なさっている宮城県警捜査班の皆様へ、感謝の気持ちを伝えたいという思いで訪問しました。県警のご提案によりご遺体安置所にもお供えさせていただけることになり、部員は身の引き締まる思いだったと思います。この活動の中で、部員達は何度も自分の中で震災と向き合い、考える時間を持ったように思います。

【毎日新聞 2012年12月20日掲載】

メリークリスマス ～松ぼっくりツリーに心を込めて～

【華道部】

部長 丹野千聰 (2-7)

私たち華道部は、12月7日に宮城県警察本部に行きました。

最初は、被災された方の似顔絵を描いていたる県警の方にお渡したいという気持ちから始まりました。すると、未だ身元が確認できない方の所にも供えてほしいということになり、松ぼっくりのクリスマツリーを一個でも多くという気持ちから、今まで最高の230個のツリーを作りました。家族の元に帰れないでいる方々がクリスマツリーで少しでも心が和らいでくれたらと思います。

華道部顧問 相澤尚美

これからもこのクリスマス訪問を続けて参りますが、一層心を込めて活動していくたいと思います。

響け!! 天使のハープ

【ハンドベル部】

部長 櫻井菜那 (1-3)

私は学院高校に入学して、ハンドベル部に入部しました。ハンドベル部の部長として頑張っています。ハンドベルは、全員がそろわなければ曲を演奏することはできません。そのため、部員一人ひとりがとても大切な仲間です。私はハンドベルをはじめて仲間の大切さを学びました。一年生15人みんな初心者で、ベルを触ったことのないところから始まりました。いろいろと大変なこともありました。この15人で乗り越えてきました。私は部員のみんなが大好きです。これからも頑張っていきたいです。

コンサートの
ご案内

第31回東北地区 ハンドベルフェスティバル

◆月日／7月7日(日)

◆場所／福島県文化センター

※これから計画するコンサート情報は、学校ホームページの中でも随時お知らせいたします。

3年食物調理科

感謝の会

vol.12

去る12月15日(土)、「3年食物調理科 感謝の会」が行われました。今年で12回目を数えるこの会は、生徒自らが作った料理を家族に振る舞い、感謝の思いを伝えることをコンセプトにしています。

今年は約200名の方がご出席されました。



3年9組 梅津美里

私達は2ヶ月前から感謝の会のメニューを考えてきました。感謝の会が近づくにつれて徐々に形になってきました。成功して喜んでもらえるかどうか期待と不安でいっぱいでしたが、保護者への思いを込めて一生懸命作りました。

「今まで育ててくれてありがとう」と感謝の気持ちを込めた手紙も、三年間和洋中のプロから学んできた料理も、どれも心に残る最高のプレゼントだったよ」と笑顔で言ってもらえて、感謝の会が成功してよかったです。この感謝の気持ちを忘れずに自分の目標に向かって頑張っていきたいです。

保護者から…

●3年間いろいろな分野を学ばせていただき今日の日を迎えることができた訳ですが、どれもこれも感嘆!でした。見た目以上に美しく味もよく、全く幸せな時間でした。

●献立・仕込み・調理と多くの時間の積み重ね、そしてメンバー皆の協力で迎えられた一日でしょう。ぜひこの「達成感」を味わって欲しいと思います。

●子どもの成長を見る事ができてもよかったです。子どもたちにとって親への「感謝の会」ではありましたが、親から子どもたちに「感謝」です。本当にありがとうございます。

KIRARI

この人

【野球部】

「心を一つに」

2年6組 野口直輝

私たち野球部は、14人という少ない人数で活動しています。他の高校よりも人数が少ない分、一人ひとりの練習量が多くなり、上手くなるチャンスが多くなります。その練習の成果をグラウンドで発揮できるように、一球一球を大切にして部活動に取り組んでいきたいです。野球部は人として成長できる場でもあります。服装・勉強・あいさつなど、当たり前のことを当たり前にして、誰からも応援されるチームになりたいです。そして、これから入学してくる一年生も含めて、全員が力と心を一つにして春・夏の大会で勝利したいです。



2012年度 部活動 入賞記録 (県大会以上)

【体育部】

◆バスケットボール男子

- 県高校総体 第2位
- 東北高校総体 出場
- ウインターカップ 山形県予選 第3位

◆バレー男子

- 県高校総体 ベスト8
- 東北私立高校バレー男子選手権大会出場
- 全日本高校バレー男子選手権大会(春高バレー) 山形県予選会 出場

◆バレー女子

- 県高校総体 ベスト8
- 山形県私立高校バレー女子選手権大会 第3位
- 東北私立高校バレー女子選手権大会出場
- 全国私立高校バレー女子選手権大会出場
- 全日本高校バレー女子選手権大会(春高バレー) 山形県予選会 出場

◆ソフトボール女子

- 県高校総体 第3位
- 国民体育大会山形県予選会 ベスト4
- 県高校新人 ベスト8

■山形県私立高校女子ソフトボール大会 第2位

■東北私立高校女子ソフトボール大会 出場

◆卓球女子

- 県高校総体 ダブルス ベスト8

後藤未紀・佐藤真友子

・シングルス ベスト16 後藤未紀

■東北高校総体

・ダブルス 後藤未紀・佐藤真友子 出場

◆テニス男子

- 山形県ジュニア選手権 U18

・シングルス 第3位 黒田雅也

■県高校新人

・団体 ベスト8

◆バドミントン女子

■県春季バトミントン選手権大会

・団体 ベスト8

・ダブルス 第3位 高橋可南子・高橋世奈

◆ボクシング

■県高校総体

・フライ級 第2位 小関大輔

・バンタム級1部 第3位 丹野涼

■東北高校総体

・フライ級2部 第1位 小関大輔

■国民体育大会山形県予選会

・フライ級 第2位 小関大輔

・バンタム級 第3位 丹野涼

◆ボウリング

■東北総体ボウリング競技 県最終選考会

・男子 第3位 中島瑞樹

・女子 第1位 悪原美穂

■東北総体ボウリング競技会 出場

・女子 悪原美穂

■東北高校ボウリング選手権大会 出場

・男子 中島瑞樹 青柳瑠佑 井澤大

・女子 悪原美穂

■県ジュニアボウリング競技大会 兼

全日本高校ボウリング選手権大会県選考会

・第3位 悪原美穂

・第4位 青柳瑠佑

■全日本高校ボウリング選手権大会(7月)

出場

・男子 中島瑞樹(決勝トーナメント進出)

・女子 悪原美穂

■県高校新人ボウリング競技大会

・第2位 井澤大

・第3位 青柳瑠佑

■山形県知事杯争奪ボウリング選手権大会

・第1位 中島瑞樹

■全国高校対抗ボウリング選手権大会県 予選会

・第3位 山形学院B 井澤大・海老名真伍

■全国高校対抗ボウリング選手権大会

(12月) 出場

・中島瑞樹・青柳瑠佑

■山形市長杯争奪市民ボウリング選手権大会

・第1位 中島瑞樹(2連覇)

◆フードデザインクラブ

■やまのべ・まるごと・フェスティバル

自慢のアイディア料理フェスタ

・第1位 「ミネコロ舞米」

・第2位 「ジャガトマポールスープ」

■貝印 全国高校生スイーツ選手権 北海道 東北地区予選大会

・第1位 加賀萌恵 柏倉愛梨 山川亞純

■貝印 全国高校生スイーツ選手権 「スイーツ甲子園」 出場

・加賀萌恵 柏倉愛梨 山川亞純

【部活動外】

■技能五輪 全国大会(日本料理)

・佐藤江里子 高橋劍

■牛乳・乳製品利用料理コンテスト

・優良賞 「冷めてもおいしいミルキーワン

山川親友

■食肉惣菜創作料理発表会

ミートデリカコンテスト 山形県大会

・金賞(第1位)「野菜の豚肉巻きガレット

~バジル風味~

山川親友

■食肉惣菜創作料理発表会

ミートデリカコンテスト 全国大会 出場

・山川親友

■第67回国民体育大会

山形県代表

・男子バスケットボール

・第3位 寒河江隼人

・女子バレー

・竹田祐紀 出場

2012年度 日本漢字能力検定合格者

2級合格(4名)…	小 関 大 輔(3-1)	茨 木 隼 人(3-1)	高 橋 恭 平(3-1)
	高 柳 大 地(3-1)		
準2級合格(7名)…	平 亜 稀(3-1)	元 木 麻 水(3-1)	小 鹿 美 里(3-4)
	市 中 理 子(3-4)	鈴 木 純(3-3)	斎 藤 郁 美(1-2)
	永 田 真 貴(1-4)		

情報創造科 各種検定一級合格者(3年生)

◆全商 三種目一級 合格(1名)	この賞は、各種検定試験一級を、3つ合格した生徒に与えられる賞です。 簿記実務検定、ワープロ実務検定、商業経済検定(商品と流通・マーケティング)の各一級合格		
	斎 藤 亨(3-6)		
○全商 簿記実務検定一級 (会計・原価計算)合格(6名)	市 川 司(3-5) 斎 藤 綾 人(3-6)	熊 澤 駿(3-5) 斎 藤 亨(3-6)	高 橋 結 衣(3-5) 村 山 沙 紀(3-6)
○全商 ワープロ実務検定一級 合格(5名)	佐 藤 啓 太(3-5) 田 邊 椿(3-6)	奥 山 永 遠(3-6) 村 山 沙 紀(3-6)	斎 藤 亨(3-6)
○全商 商業経済検定一級 (商品と流通・マーケティング)合格(2名)	漆 山 和 輝(3-5)	斎 藤 亨(3-6)	



〈心に響いた聖句-②〉

「弱きを誇ろう」

教諭(聖書科)

新 田 恒 平



「すると主は、『わたしの恵みはあるに十分である。力は弱さの中でこそ十分に發揮されるのだ』と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るよう、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、窮屈、迫害、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています。なぜなら、わたしは弱い時にこそ強いからです。」

(コリントの信徒への手紙II 12章9節～10節)

私は、この聖句に出会った時、「なぜ弱さを誇らなければならないんだ」と素直に受け止めることができませんでした。人は誰しも自分の弱さは隠したがるし、他人の弱さは目についてしまうもの。ただ、そんな心の中の嫌な部分に悶々としていました。

大学時代、私が対人関係で悩む最中、改めてこの聖句を目にし、ふと気付かされました。物事には何にも対がある。上があるから下があり、暗さがあるから明るさがある。だから、弱さがあって初めて強さがあるんだと気付かされました。

弱さは、「もっとこうしよう」「ああしよう」と強さへと導いてくれる、神様からのプレゼント、生きる力を与えてくれるものだと今では思っています。

自分の弱さは、誰よりも自分が分かるはず。だから、素直に己の弱さを出しつつ、他の弱さを受け入れられる人、そのような人でありたいです。

「山形学院21世紀教育振興募金」のお願い

学院の教育充実のために 募金にご協力を。

この募金は、生徒の奨学資金、公開講座、その他の教育活動を支えていくために設けております。学校内外にご芳志、ご協力、衷心より感謝申し上げます。

この振興募金から2つの奨学金制度を継続しています。また、公開講座として、料理教室、ハングル学習会を開くことができています。

「21世紀教育振興募金」の充実は、本校の教育活動を一層拡大・充実するものとなります。是非今後とも学校内外の皆様のご協力をお願い申し上げます。

I 山形学院学業奨励奨学金制度

対象・2年在籍の生徒で、学校生活、学業に努力し、人物に優れた者。
各学科1名計3名
奨学金・10万円（返済義務なし）

II 山形学院貸与奨学金制度

対象・本学院に在籍する生徒で、各家庭の事情により経済的な協力を必要とする者。
奨学金・貸与額に段階あり、無利子で貸与。
卒業後に返済の義務を負う。